

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人サン・ビジョン)

事業所名 (指定介護老人福祉施設第2グレイスフル春日井)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介護	離床アシストベッド リショーネPlus		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
29年 8月1日	2台	29年 8月1日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

特別養護老人ホーム利用者の離床を伴う活動的な生活支援サービスを提供する中で、移乗時に生じる利用者・職員(介護者)双方に生じる過度な負担の軽減を図る。

導入決定後⇒業者と契約⇒平成29年8月機器納品⇒使用研修実施⇒使用状況検証
⇒導入効果報告

【倫理面への配慮】

利用者の尊厳、プライバシーなど十分考慮し、機器利用前に利用者・家族への説明を十分にし、了承を得た上で対応させていただく。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】(3年間目処)

- 職員の身体負担軽減。腰部負担アンケートを導入前・後に実施し数値にて確認する。
- 利用者のベッドと車椅子間移乗時に生じる身体面・精神面の過度な負担軽減。
- ベッドと車椅子間移乗時に起こるヒヤリ・ハット事故の減少。
- 職員のベッドと車椅子間移乗介助時に生じる身体面・精神面の過度な負担軽減。
- 職員のマンパワー不足の軽減。現状2人介助を1人介助で可能となる場合が増える。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- 利用者の移乗時に生じる身体面・精神面の過度な負担軽減と活動的な生活による自立支援。
- ベッドと車椅子間移乗時に起こるヒヤリ・ハット事故の減少。
- 職員の移乗介助時に生じる身体面・精神面の過度な負担軽減。腰痛など体調不良の減少。
- 職員のマンパワー不足の軽減。現状2人介助を1人介助で可能となる場合が増える。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人サンライフ)

事業所名 (介護老人保健施設フラワーコート江南)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介護	離床アシストベッド リショーネPlus		
導入時期 (予定)	導入台(セット)数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
29年 8月1日	2台	29年 8月1日	年 月 日から 年 月 日まで

【事業概要及び導入スケジュール】

介護老人保健施設利用者の離床を伴う活動的な生活支援サービスを提供する中で、移乗時に生じる利用者・職員(介護者)双方に生じる過度な負担の軽減を図る。

導入決定後⇒業者と契約⇒平成29年8月機器納品⇒使用研修実施⇒使用状況検証
⇒導入効果報告

【倫理面への配慮】

利用者の尊厳、プライバシーなど十分考慮し、機器利用前に利用者・家族への説明を十分にし、了承を得た上で対応させていただく。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】(3年間目処)

- 職員の身体負担軽減。腰部負担アンケートを導入前・後に実施し数値にて確認する。
- 利用者のベッドと車椅子間移乗時に生じる身体面・精神面の過度な負担軽減。
- ベッドと車椅子間移乗時に起こるヒヤリ・ハット事故の減少。
- 職員のベッドと車椅子間移乗介助時に生じる身体面・精神面の過度な負担軽減。
- 職員のマンパワー不足の軽減。現状2人介助を1人介助で可能となる場合が増える。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- 利用者の移乗時に生じる身体面・精神面の過度な負担軽減と活動的な生活による自立支援。
- ベッドと車椅子間移乗時に起こるヒヤリ・ハット事故の減少。
- 職員の移乗介助時に生じる身体面・精神面の過度な負担軽減。腰痛など体調不良の減少。
- 職員のマンパワー不足の軽減。現状2人介助を1人介助で可能となる場合が増える。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。